

市町村・ケース別 最大津波高(m) (満潮時・地殻変動を考慮)

市町村	ケース①	ケース②	ケース③	ケース④	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑦	ケース⑧	ケース⑨	ケース⑩	ケース⑪
南国市	8.1	7.9	12.2	<b>16.2</b>	12.9	8.1	7.9	7.9	12.4	9.5	13.4
高知市	9.6	9.4	12.9	14.7	11.8	9.6	9.4	9.3	13.0	8.9	13.7
室戸市	13.7	18.1	20.7	17.3	13.4	13.7	18.1	18.1	19.5	20.6	24.9
安芸市	10.9	10.6	10.6	14.9	14.3	10.9	10.4	9.9	10.6	13.9	13.4
土佐市	13.4	13.1	19.5	21.9	17.3	13.4	13.1	13.1	19.5	12.0	19.3
須崎市	15.0	14.7	19.3	23.9	21.2	15.0	14.7	14.6	19.4	13.0	20.7
宿毛市	8.9	9.7	13.0	13.3	20.0	8.9	9.7	9.7	12.9	10.5	21.0
土佐清水市	12.4	13.9	21.4	22.7	31.3	12.3	13.9	13.9	21.4	20.9	31.8
四万十市	14.6	14.3	12.8	23.1	26.7	14.6	14.3	14.2	12.7	18.3	17.7
香南市	8.0	7.6	12.3	15.1	13.3	7.8	7.5	7.3	12.4	9.7	13.1
東洋町	7.2	11.3	16.1	15.4	7.4	6.9	11.5	11.4	16.4	12.4	18.4
奈半利町	8.1	8.4	10.8	11.7	11.7	8.3	8.7	9.2	12.6	8.5	12.0
田野町	8.6	8.6	11.5	11.5	8.5	8.5	8.5	9.5	9.6	8.2	10.0
安田町	9.4	8.1	9.9	11.6	9.9	9.4	7.8	8.5	8.6	7.8	8.9
芸西村	9.2	9.8	12.3	15.4	14.7	9.0	10.0	10.0	12.4	12.6	13.3
中土佐町	13.1	12.8	17.4	22.2	21.4	13.1	12.8	12.7	17.4	11.3	17.7
四万十町	11.3	11.0	17.2	25.4	24.2	11.3	11.1	11.0	17.3	23.1	18.4
大月町	10.4	12.2	18.2	17.4	20.8	10.4	12.2	12.2	18.1	17.3	25.8
黒潮町	18.0	17.6	21.4	<b>34.4</b>	34.3	17.9	17.6	17.5	21.5	20.5	26.5

(南海トラフ巨大地震モデル検討会 発表資料より)



するまでの時間といったことまでは公表されていません(3月31日時点)。今後は、津波による浸水域の推計や、地震の時間差発生、長周期地震動などについて検討が進められる予定です。

高知県においては、今回の想定を受けて、5月10日に1回目の津波浸水予測が公表されましたが、今後、最新の地形データや構造物データを踏まえ、津波到達時間も推計した詳細な津波浸水予測が今年の秋ごろに公表されることになっていきます。

南国市では、高知県から出される詳細な情報を基に、浸水範囲や津波到達時間、避難場所などの情報を示した防災マップを平成25年度に作成する予定です。

**■今回の想定への注意点**

今回の想定は、あらゆる可能性を考慮した最大クラスのものであり、次に起こる地震・津波を予測したものではありません。また、何年以内何%という発生確率を念頭に地震・津波を想定したものではありません。

**◆揺れは最大震度7**

最大クラスの地震が発生した場合、どれくらいの揺れになるのでしょうか。

これまで高知県・南国市が想定していた南海地震(安政南海地震マグニチュード8.4を想定)では、震度5強から6強の揺れになると想定されていました。今回の想定では、南国市を含め高知県の大半が震度7になることが示されました。南国市内でも地域の地盤の状況などにより、揺れの大きさは異なってきますが、これまで以上に揺れに対しても備えが重要となってきます。

**◆想定最大津波高 南国市で16・2m**

今回公表された想定では、市町村別の最大津波高の推計結果も公表されました。報告された津波は発生頻度が極めて低いものですが、発生する

と大きな被害をもたらすものです。

津波の高さは、断層のすべる場所がどこで発生するかによって異なるため、公表された最大津波高は11ケースに分けられています。

高知県では、ケース4の黒

潮町が34・4mと全国的に見ても最大となっていて、南国市でも、ケース4が最も高く16・2m、最低でも7.9mとなっています。

この津波高は海岸線付近の高さとされていて、陸側の浸水する範囲やその深さ、浸水

# 防災特集

南国市防災キャラクター  
なんこく防災くん

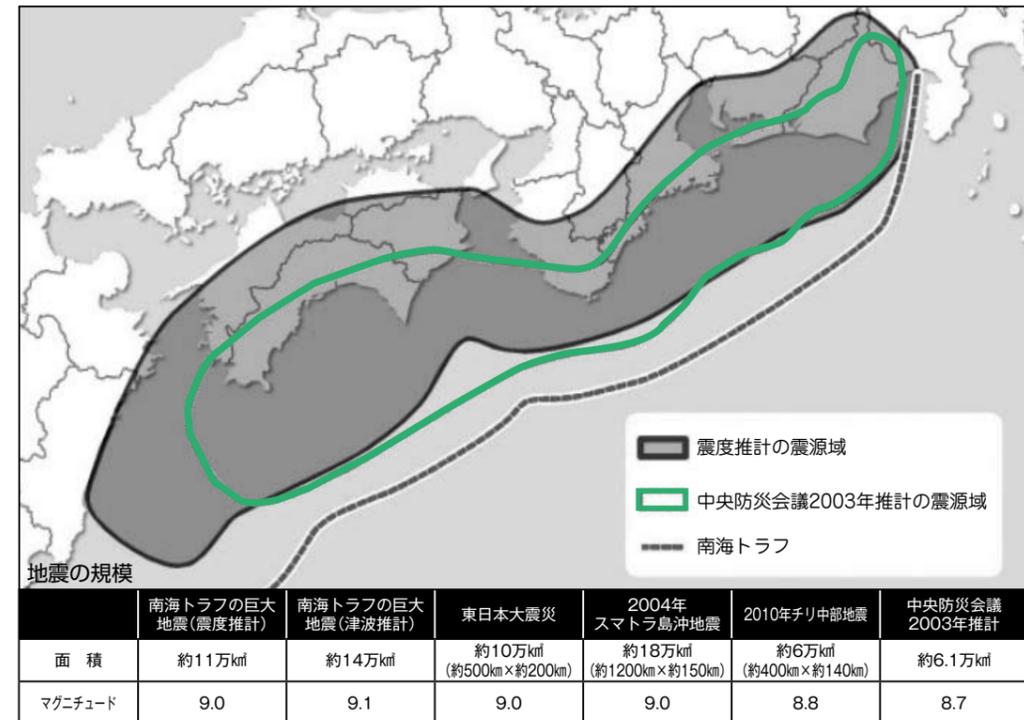


## どうなる巨大地震

## 備えはどうする

～ 知る / 逃げる / 守る ～

南海トラフの巨大地震の新たな想定震源域



(南海トラフ巨大地震モデル検討会発表資料より作成)

昨年3月11日の東日本大震災から1年。高知県周辺で巨大地震が発生すればどうなるのか。また、備えはどうするべきなのでしょう。新たな国の想定や巨大地震への市の対策などを紹介します。

**◆拡大した震源域と地震の規模**

昨年3月11日の東日本大震災では、地震の規模や津波の高さ・浸水範囲など、さまざまなことが「想定外」とされ、多くの方が犠牲になりました。国の中央防災会議は、東日本大震災を教訓として、昨年4月27日に専門調査会を設置、巨大地震の調査や分析、対策を検討しています。今年3月31日には、東海・東南海・南海地震などの巨大地震発生時における新たな想定が公表されました。

公表された想定は、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大地震・津波を検討したもので、地震の規模は、これまでの想定よりマグニチュード8.7から東日本大震災と同規模であるマグニチュード9となりました。(上図)

震源域は、これまでの想定では高知県の北部は含まれていませんでしたが、新たな想定では四国の大部分が含まれる形となり、全体で従来の想定より約2倍に拡大され、より広い範囲で巨大地震への注意が必要となっています。